

語り合う

生命誌の広場

中村桂子の  
ちょっと一言

ラボ日記

表現スタッフ日記

さまざまな交流

生命誌のこれからを  
考える

## 生命誌の広場

### テーマ別に投稿を読む

- 中村桂子の「ちょっと一言」▶
- 研究について▶
- 季刊「生命誌」▶
- 展示・映像▶
- その他▶

### あなたの考えをお聞かせください

### ご意見はこちらから

### 最新のお返事

- 2019年10月02日  
[RE:アゲハの気持ち](#)
- 2019年09月26日  
[アゲハの気持ち](#)
- 2019年09月13日  
[原爆について](#)
- 2019年09月05日  
[BRHメールマガジン vol.363 新着情報](#)
- 2019年08月28日  
[この夏一番元気だったものは？](#)

### 最新のご意見

- 2019年09月27日  
[RE:アゲハの気持ち](#)
- 2019年09月25日  
[アゲハの気持ち](#)
- 2019年09月09日  
[原爆について](#)
- 2019年09月05日  
[BRHメールマガジン vol.363 新着情報](#)
- 2019年08月23日  
[この夏一番元気だったものは？](#)

### 過去の書き込み

2019年 10月  
GO

### みなさんからのご意見



#### 中村桂子の「ちょっと一言」

#### 枯れ葉色の蝶

投稿日：2015.11.11 名前：星野順子

秋が深まり枯れ葉舞うこの季節。庭を歩くとカサコソと耳に心地よい音です。その時、私の目の前をひらひらと動くものがありました。枯れ葉なら上から下に落ちるはずなのに、右から左に横切りふわりと地面の落ち葉に止まりました。何だろうと目を凝らしてみると枯れ葉そっくりな色の蝶でした。蝶は春から夏に飛んでいる姿をよく見るので、この時季に飛ぶとは思いませんでした。しかも、蝶といえば、白や黄色、紫とカラフルで優雅なイメージです。生命誌のホームページには11月から2月にかけての寒い季節にも、数は少ないですが飛んでいるとのことでした。

いろいろ調べてみると、どうも『キタテハ 秋型』ではないかと思います。春夏に羽化した成虫とは違い、地味なこの姿のまま冬を越すと書いてありました。数が少ない分、枯れ葉とそっくりに擬態して、鳥などに襲われないようにしているのでしょうか。次の世代に命を継ぐための知恵ですね。自然って本当に不思議です。

今まで見たことがなかったので、私の中での新しい発見でした。春まで頑張るとエールを送りたいと思います。

最後になりましたが、先生どうぞお身体ご自愛ください。

### お返事

投稿日：2015.11.28 名前：中村桂子館長

私の家の庭では今、チョウがよく飛んでいます。夏にいつもより少ないと思っていましたら今頃になって鮮かな黄色まで含めて。四季を刷り込まれてはいますが、自然の気まぐれにも慣れてきています。体のことありがとうございます。体にわきまえて行動しなさいと言われたのでしょうか。気をつけます。



#### 中村桂子の「ちょっと一言」

#### 生物進化の謎と感染症

投稿日：2015.11.02 ニックネーム：竹ちゃん

中村館長さん、お大事になさってください。9月21日に東中野のポレポレで『水と風と生きもの』を鑑賞しました。新宿駅で中村先生と同じ電車に乗りました。階段を上ったところで電車を待っていた時に、目の前を中村館長さんが通り過ぎました。声をおかけしようとしたのですが、人間違いでは、また、少しお疲れのようにも見えたので躊躇してしまいました。風は万病の元といえます。早いご快復をお祈りいたしております。

NHK第2でカルチャーラジオを放送しています。「科学と人間」シリーズです。10月からは『生物進化の謎と感染症』（吉川泰弘千葉科学大学教授）です。西洋文明がもたらした感染症がインカ文明を滅ぼした話など興味深い話を期待しながら聞いています。昨年、北里大学で中村館長さんが講演されたときにも、私たちの体には何兆という微生物が付いているというお話を伺いました。古希を過ぎましたが、生き物の世界をもっと知りたいという好奇心が湧いています。中村館長さんのウィルス感染のお話からお便りをしようと思い立ちました。お大事にしてください。



### 新着情報



[10月19日生命誌オープンラボ \(19.10.01\)](#)

[10月4、5日 生命誌を考える映画鑑賞会\(19.10.01\)](#)

[昆虫脳の標本展示が登場！\(19.10.01\)](#)

[パラパラめくる生命誌3ダウンロード開始\(19.10.01\)](#)

[あくあびあ芥川とスタンプラリー開催\(19.10.01\)](#)

## お返事

投稿日：2015.11.09 名前：中村桂子館長

映画を観て下さったとのことありがとうございました。21日はまさに熱をおして出かけた日ですので、声をかけにくい、哀れな状態だったことと思います。失礼をしてゴメンナサイ。おかげさまで、ウィルスはそういつまでも一人に拘わっていることはできないよと、どこかへ行ってくれましたが、一人では生きていけない身ですので、どなたかを困らせているのでしょうか。こうなるとウィルスの方が上位ですね。

▲ ページの先頭へ

[サイトのご利用について](#) | [プライバシーポリシー](#) | [サイトマップ](#) | [プライバシー](#) | [サイトマップ](#)



JT生命誌研究館  
〒569-1125 大阪府高槻市紫町1-1 TEL:072-681-9750 (代) FAX:072-681-9743

copyright © JT Biohistory Research Hall 2012.